

地域包括支援センターだより

第10号

H24. 9. 1発行

(年4回発行)

編集発行

皆野町地域包括支援センター

皆野町大字皆野1420-1

電話 62-1233

介護者のつどい

介護者自身の健康はとても大切です。介護についての知識を、楽しく
学びながら、仲間づくりをしませんか。ぜひ、ご参加下さい。

期 日	内 容
9月19日(水)	【ヨガによる介護疲れの癒し方】
10月24日(水)	講師 勅使河原 文子 先生
11月21日(水)	参加費 無料

時 間：午前10時～11時半

場 所：総合センター(公民館) 2階 和室

対 象：皆野町で在宅介護をしている方

持参品：水分補給用のお茶等、汗ふき用タオル

申込み：開催日1週間前までに下記まで申込みください

健康福祉課 地域包括支援センター

「まってるよー。」

電話 62-1233 内線115



油断大敵

7月18日（水）の歌謡健康教室（長生荘）において、秩父警察署の警察官から「交通安全アドバイス」と健康づくり担当の保健師から「熱中症予防アドバイス」がありました。元気に過ごすためには気をつけることがたくさんありますね。高齢者の交通事故は、自宅から500メートル以内のごく近いところで発生する傾向にあります。

また、この暑さにより、5月から8月までに埼玉県内で約2,000人が救急搬送されています。十分な休息とこまめな水分補給を心がけましょう。



【写真左上】交通安全アドバイス【写真右上】熱中症予防アドバイス

今号の特集 『踊りに情熱をかけて』～周^{しゅうとう}東節子さん（根岸区）～



周東さんは秩父音頭の家元指導員として長年活躍されてきた方です。以前に車いす生活を経験したことから、車いすの正調秩父音頭の普及に尽力しています。

その取り組みが評価され、先日開催された秩父音頭まつりでは、障害者支援施設「カーサ・ミナノ」の方々と一緒に踊りを披露しました。「お年寄りや障害をもっている人も楽しめる踊りにしたい。」と語るように熱い気持ち、エネルギーが伝わりました。



【写真上】お祭りでチームを先導。

【写真右】カーサ・ミナノのみなさんと練習している様子。（本人中央）

<地域包括支援センターからのお知らせ>

★地域でいきいき生活している高齢の方の情報をお待ちしています！！★
自薦・他薦を問いません。

★地域活動情報を募集しています！！★

地域の寄合や行事など活動している団体を把握しています。地域社会の繋がりを通じて介護予防に一役買うような活動をぜひおしえてください。

（問合せ） 皆野町地域包括支援センター

TEL 62-1233（内線 115・116） FAX 62-2791

地域包括支援センターはこんな仕事をしています

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられるようにお手伝いします。

介護保険サービスの利用方法、介護予防、認知症相談、保健・障害者・高齢者福祉、権利擁護、そのほか生活に関する不安や悩みなど
いろいろな相談に応じます。気軽にお電話・ご来庁ください。

高齢者のよろず相談所

皆野町地域包括支援センター（健康福祉課内）

電話 62-1233 内線 115・116

【編集後記】

お国自慢によく方言（ほうげん）が話題になることがありますよね。その点、皆野は「秩父弁」の宝庫と言えるでしょう。例えば、今時分であれば「あちいんにあたんねえようにしろいなあ。」なんて。これは「暑いから気をつけてくださいね。」ということを行っています。先日、上司から「ええげえし」という言葉があると教わりました。どうやら農作業の際にご近所同士で「すけっこ」すること、つまり「助け合う」ことを意味するようです。良い言葉なので「センターだより」のサブタイトルにしようかと考えています。ただ、たくさんの年寄りに聞いてみましたが、肝心の語源がわかりません。語源について「だれか、よげなものをめつけてくんねえかさあ」。

ご意見をお待ちしています。

ペン やす